

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【連携事業】

幹事市町	下野市	※事業主体が地域づくり団体等の場合のみ記載すること。
構成市町	下野市・上三川町・壬生町	
事業名	広域公共交通でつなぐ地域の宝(人・観光・健康・仕事)1市2町連携プロジェクト事業	
事業主体の名称※		
代表者の名称※		
事業主体の所在※		
事業主体の概要	<p>・団体の目的: ・設立年月日: ・構成員等:</p>	
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>東京都心から80km圏内にあり、1市2町それぞれが地域特性や強みを有するものの、小規模自治体であり、単独で地域外に向けた積極的な施策を打ち出しても根本的な課題解決につながりにくい現実がある。各市町単独ではポテンシャルを十分に発揮することが困難であり、国内外から人を呼び込む仕掛けや転出入等の人の流れを変える仕組づくりを行うには限界があることから、1市2町が縦割りの壁を越えて連携し、エリア全体で一体となって地方創生の実現に向けた施策を推進することが求められている。</p> <p>また、2015年から2040年までの75歳以上人口の増加率(社人研推計ベース)は、下野市66%、上三川町83%、壬生町45%と、いずれも全国平均値の35%よりも際立って高く、エリア全体で急速な高齢化が進むこと。また、若者に目を向けると、2010年から2015年にかけての20代の移動数について、栃木県全体では5,989人と転入増であるところ、下野市、上三川町、壬生町については、エリア全体で合計385人の転出超過となっている。これらの構造問題に対処するため、若い世代層の移住定住促進に加え、アクティブシニアが生活しやすく、生涯活躍できるまちづくりを行うことが、1市2町共通の課題となっている。</p> <p>地理的にまとまり、東京圏や宇都宮市と鉄道でつながる優位性がある一方で、1市2町を東西につなぐ地域交通がないため、学生・高齢者等の自家用車を使用しない域内住民にとって、質の高い生活を実現する隣接市町の資源・施設を日常的に利用しにくい環境となっている。さらに、自家用車を持たない東京圏在住者や外国人旅行者等にとっても、鉄道駅からの移動手段が確保されないため訪問・滞在に結びつきにくい環境となっていることから、エリア内の鉄道交通及び各資源を東西につなぐ仕組づくりが求められている。</p>	
事業目的	<p>1市2町の資源を活かした一体的な魅力・情報発信等により、認知度不足を克服するとともに、南北を縦断する鉄道(JR・東武)と東西を横断するバスの接続を通じた圏域公共交通網の形成により、東京圏等からの鉄道利用観光客の増加、域内周遊・滞在の促進、さらには域内消費の拡大が図られ、各地域の農・商・観光関連サービス業等の稼ぐ力の向上と圏域全体の経済好循環を創出すること。</p>	
事業概要	<p>地方創生推進交付金事業と連携して、持続可能な公共交通の形成のために広域連携バスの地域住民へ固定客の確保に繋がる効果的な周知・利用促進を行うとともに、広域連携バスを始めとした公共交通と観光分野の連携による観光ロゲイニング事業等による地域の魅力発信により、観光客等の利用を促進し安定した収益を確保するための施策を重点的に行う期間とする。</p> <p>また、1年目の実験データの検証と既存の交通機関・地域交通との連携を踏まえ、真岡市方面との接続を強化し、生活交通と観光2次交通の両面から、効果的な運行ルートや便数等の検証・見直しを図るとともに、広域観光や移住定住の促進、健康増進を図る関連事業をエリア全体に拡大して交通事業との連携を強化し、事業効果を高める。</p> <p>なお、令和元年度の運行開始から推進交付金を活用している。交付金はバス運行経費や利用促進費に充てており、運行PR交通マップの配布や、PR映像を作成・放映するなどし、住民へ広く周知を行うことで利用を促進を図っている。</p> <p>【事業内容】 ・広域連携バスの実証運行(地方創生推進交付金対象外事業分)</p>	
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>(下野市) 【基本目標2】東京圏からの新しいひとの流れをつくる 【数値目標】転入者数 2,339人(H30) → 2,572人(R6) 観光入込客数231万人(H30) → 271万人(R6)</p> <p>(上三川町) 【基本目標2】魅力ある”かみのかわ”への新しい流れの創出 【数値目標】社会増減数 -5人(H30) → 0人(R7)</p> <p>(壬生町) 【基本目標2】壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,709,996人(H30) → 5%増加(3,895,496人:R7) 転入者数 1,350人(H30) → 5%増加(1,417人:R7)</p>	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

事業内容	R2年度	年度	年度	支援期間の	支援期間の
				事業費計	翌年度
事業内容	広域連携バス実証運行				広域連携バスの実証運行
事業費	13,200,000			13,200,000	26,400,000
市町支出金(ソフト事業分)	11,455,000			11,455,000	22,400,000
うち県交付金	5,727,000			5,727,000	
市町支出金(ハード事業分)	0			0	0
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	1,745,000	0	0	1,745,000	4,000,000

幹事市町担当情報

担当課(グループ・係)名	下野市安全安心課	
担当者名	小野 洋一	
連絡先	電話	0285-32-8894
	FAX	0285-32-8609
	E-mail	anzenanshin@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	広域公共交通でつなぐ地域の宝(人・観光・健康・仕事)1市2町連携プロジェクト事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
運賃収入等	1,745,000	運賃収入1,600千円 広告等収入145千円
市町負担金	11,455,000	下野市6,000千円 上三川町1,797千円 壬生町 3,658千円
計	13,200,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
委託料	13,200,000	11,455,000	5,727,000	1,745,000	広域バス実証運行業務委託費用(R2.10.1~R3.3.31の半年分)
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	13,200,000	11,455,000	5,727,000	1,745,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(連携事業支出整理票)

単位事業名	広域公共交通でつなぐ地域の宝(人・観光・健康・仕事)1市2町連携プロジェクト事業
-------	--

対象年度	2	年度
------	---	----

科目	予算額 (精算額)	下野市支出額		自主財源等	上三川町支出額		自主財源等	壬生町支出額		自主財源等	◎◎市町支出額		自主財源等
			県交付金			県交付金			県交付金			県交付金	
委託料	13,200,000	6,000,000	3,000,000	914,000	1,797,000	898,000	274,000	3,658,000	1,829,000	557,000			
計	13,200,000	6,000,000	3,000,000	914,000	1,797,000	898,000	274,000	3,658,000	1,829,000	557,000	0	0	0

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。